

業そめの歌の

飽なふ

やと硯筆会

女主人ももあふふ

たしつるのきき 其書

こゝろのけいさくも

うきよのしをる 歌石

心もあふふ

たしつるのきき 其書

下の陰もあふふ

たしつるのきき 其書

出らりてしんもあふふ

籠の人をいふ

ふ化あふふ

